

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	外国人市民を対象としたヘルスケアプロジェクト							
団体名	浜松外国人医療援助会 (Medical Aid for Foreigners in Hamamatsu (MAF 浜松) )							

\*\*\*\*\* 事業のポイント \*\*\*\*\*

- ・外国人学校に通う子ども達は法的な教育機関としての認可が無いため、健康診断が行なわれておらず、運動場や体育館もほとんど無い。運動不足と食習慣により子ども達は肥満児が多い。また、言葉のバリア等により授業についていけない子ども達の多くが自己肯定感に貧しいため、子ども達の心身健康のためのプログラム。
- ・外国籍の子ども達に関わるヘルスケア環境の実情を多くの市民が知らないため、プロジェクトを通じた結果を社会に伝える。又は子どもたちが自身自分のヘルスケアの大切さに気づき、日頃から自分の心身の健康につながるプログラム。

助成年度 区分	平成 22 年度 地域国際化協会等先導的施策支援事業	事業総額	1,367千円
------------	----------------------------	------	---------

事業の内容、成果等

1 事業実施について

①「外国人市民のヘルスケアを考える専門家委員会」の開催

- ・内 容:プロジェクト実施のための情報や意見交換をし、機能的・効率的に実施した。
- ・委 員:医師を中心とするMAF浜松メンバー、企業、浜松医科大学学生、浜松学院大学外国人支援リーダー養成プロジェクトスタッフ、他NPO等
- ・会 場:浜松 NPO ネットワークセンター会議室

② 外国人学校健診会のための「外国人学校健診会事前全体連絡会」の開催

- ・内 容:外国人学校において、身体測定・視力検査・肥満度検査・尿検査・心電図検査内科検診の検査項目について、通訳を配備した環境で検診会を行うが、健康事前に、各学校間及び医師等で検診会の意義やその後の学校・保護者の対応に関わる情報交換会を開いた。
- ・参 加 者:外国人学校 5 校
  - ・エスコーラ カンチーニョ フェリス(石原)
  - ・コレジオ ムンド デ アレグリア(雄踏町)
  - ・エスコーラ アレグリア デ サベル(天王)
  - ・コレジオ ピタゴラス(富塚)
  - ・エスコーラ アルカンセ(高丘北)
- ・日 時:5月13日(木)
- ・場 所:浜松 NPO ネットワークセンター会議室
- ・通 訳:ポルトガル語・スペイン語

### ③「ヘルスケア予防のための栄養講座」の開催

「外国人学校健診会」の結果をうけた内容で、母国の食文化など情報の共有やニーズを探り、栄養バランスに関する基本的な知識や、運動を取り入れた内容で実施。浜松大学小田巻教授の指導の下、健康栄養学科の学生による講座を開催した。

#### 栄養って何だろう？

O que é alimentos nutritivos ?

体の調子を整える  
Preparação do corpo

無機質

Cálcio

体の組織をつくる  
Formação do corpo

たんぱく質  
Proteína

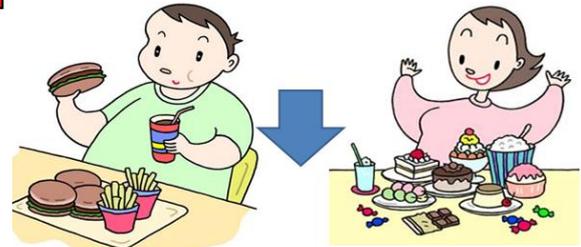
ビタミン  
Vitaminas

炭水化物  
Hidrato de carbono

脂質  
energético

体のエネルギーになる  
É energia para o corpo

こんな生活していませんか？  
Sua vivência é assim ?



肥満になってしまいます！  
Pode ficar **obeso** !

	第1回目	第2回目	第3回目
日時	10月22日(金) 10:00~12:00	10月22日(金) 14:00~16:00	12月20日(月) 14:00~15:30
会場	エスコーラ アルカンセ	ムンド デ アレグリア	コレジオ ピタゴラス
講師	小田巻 眞理(管理栄養士、浜松大学 教授)	小田巻 眞理(管理栄養士、浜松大学 教授)	有海 雅子(栄養士、社会福祉士)
協力	浜松大学健康プロデュース学部健康栄養学科 小田巻ゼミ生	浜松大学健康プロデュース学部健康栄養学科 小田巻ゼミ生	
参加人数	40人	80人	50人

### ④「シンポジウム・外国人市民に関わるヘルスケア実践報告会」の開催

無料検診会並びに外国人学校健診会の結果及び、各プログラムの実施によってえてきヘルスケアの課題についてシンポジウム形式で報告会を実施した。

- ・日 時:平成 22 年 11 月 27 日(日)  
14 時 30 分から 18 時まで
- ・場 所:アクトシティ浜松 コンgressセンター
- ・後 援:浜松市、浜松医師会、浜松市歯科医師会、浜松  
中ロータリークラブ、浜松ロータリークラブ、国  
際ソプロチミスト浜松、中日新聞社、静岡新聞  
社・静岡放送、朝日新聞社浜松支局

## ・プログラム

### 第1部:15年間の活動報告 15時～

- ・ MAF・浜松15年の歩み  
(会長 山口貴司)
- ・ 外国人学校健診からの報告  
(副会長 長尾正明)
- ・ MAFによるアンケート報告  
(事務局長補佐 斎藤拓也)
- ・ 外国人の精神的苦痛について  
(浜松市精神保健福祉センター長 二宮貴至)
- ・ 総合病院は外国人医療の取組みについて  
(遠州総合病院院長 水上泰延)

### 第2部:パネルディスカッション 16時～

- ・ コーディネーター:久保田君枝氏  
(浜松医科大学 准教授)
- ・ パネリスト:山口貴司、長尾正明、斎藤拓也  
二宮貴至、水上泰延  
田島リリアン(MAF 運営委員)

### 第3部:交流会 17時～18時

- ・ 参加者 80人

## ⑤「外国人市民に関わるヘルスケア実践報告書」作成

- ・内 容:無料検診会や外国人学校健診会での検診結果  
を含む、ヘルスケアプロジェクト実施事業に  
関わる報告書

### 第1部:15年間の活動報告

MAF・浜松15年の歩み

外国人学校検診からの報告



浜松外国人医療援助会は1997年に設立された市民による外国人医療支援を目的とした市民団体です。これまでに14回の無料検診会をボランティアの力で実施してきました。また、2002年からは外国人学校の児童・生徒の健康診断も行ってきました。今年で15周年を迎え、これまでの活動を振り返り、今後の外国人医療について考えて行きます。

**と き** 11月28日(日) 15時～18時  
**と ころ** アクトシティ浜松 コンgressセンター 52～54会議室  
**テ マ** 「外国人医療の明日へ向けて」～浜松より～



MAFによるアンケート報告  
外国人の精神的苦痛について  
総合病院は外国人医療の取組みについて

第2部:パネルディスカッション

・冊数:1000部

2 事業の具体的な成果

- ・今回のプロジェクトの対象である「外国人学校の子どもたちの健康を守ること」については、多様な支援能力をもつ「ヘルスケア専門家委員会」を通すことで、様々な立場の人たちにはそれぞれの役割があることを再認識することができた。また、身近な社会資源を十分に活用することから、ヘルスケアプログラムを生み出す可能性に気づくことができた。
- ・「外国人学校検診会事前全体連絡会」を行いながら健診会や講座を進めることで、活動の趣旨をしっかりと届け、学校側のニーズを把握することができ、お互いの顔が見える関係の構築につながった。
- ・うこく体育館や運動場等がない外国人学校において、肥満予防のための「栄養講座」を行うことで、食文化の違いを超え、健康に対する興味を促し、心身の健康維持のための自立的な活動に繋がった。
- ・プロジェクト一連を「ヘルスケア実践報告会」シンポジウム形式の開催によって社会に伝えることで、外国人市民の窮状に社会が気づき、外国人市民のヘルスケア全般の改善に向かう端緒となった。

3 事業の今後の展望

- ・「ヘルスケア専門家委員会」では専門的意見を得られ、プロジェクトを遂行する非常に重要な機会となった。今後更に、ヘルスケア意識の向上が可能となるよう、外国人学校関係者を新規メンバーとして加える必要がある。
- ・学生が主体となった「栄養講座」は、「外国人学校には肥満児童・生徒が多い」という、「健康診断」の医師の結果から開始したものであるが、児童・生徒の体重や身長、一日の生活と簡単な食事記録のアンケート等を事前に行い、データに基づいた講座内容を考案していく必要がある。
- ・浜松市では公立小・中学校に対してスクールカウンセラーを配置しているが、外国人学校に通う子どもについては、家庭も学校も不安定な現状の中、保健室のような場所さえ無い学校がほとんどであり、母語によるカウンセリングの必要性が見えてきた。しかしながら、一校一人のスクールカウンセラーを配置する余裕は学校側に全くないように見える。ヘルスケアカウンセラー、または養護教員による巡回健康相談事業を行う必要があると考える。

「外国人医療の明日へ向けて」  
～ 浜松より ～  
シンポジウム 報告書



MAF  
浜松  
2010

浜松外国人医療援助会  
Medical Aid for Foreigners in Hamamatsu